

Social Business Project

主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会
パンフレット制作 株式会社アイブレン

SBP交流フェアの詳細情報はホームページをご覧ください。
<https://mirai-otona.jp> 「未来の大人」で検索

follow me!!

YouTube
未来の大人応援
プロジェクト



LINE
公式アカウント
@miraiotona



Instagram
@mirai_otona



Find us on
@mirai.no.otona.sbp



第9回

全 国 高 校 生

SBP
Social Business Project

交 流
フ ェ ア

高校生の“伸びしろ”は、

そのまま日本の“伸びしろ”だ!



～ 学生の学生による学生のための祭典～



プログラム 1

SBP アワード オンライン発表会
(チャレンジ・プレミア)

2024
7月27日(土)・28日(日)

プログラム 2

SBP アワード 代表発表会、
実践発表交流会、ワークショップ、表彰式

2024 会場 皇學館大学
8月17日(土)・18日(日)

プログラム 3

SBP プレミアステージ
(SBP モデル事例発表)

2024 会場 ハリウッド
美容専門学校
9月7日(土)



未来の大人と未来を創る！

「第9回全国高校生SBP交流フェア」開催に当たり、主催者を代表しご挨拶申し上げます。
本フェアは、全国でSBP活動を行う高校生を中心とした団体が、それぞれの取り組みを通して交流・研鑽を図ることを目的とし、2013年より毎年1回実施してまいりました。

当初は、本フェアの社会的な必要性、継続性、運営する財源の確保などの課題があり、2013年からの3年間は開催の意義を問いながら、“高校生レストランのまち”として有名な三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」をスタートさせその必要性等の実証を行いました。

その結果、想定を超える多くの方々からの支持を受け、2016年から「第1回全国高校生SBP交流フェア」として舞台を三重県伊勢市に移し、より多くの地域で“未来の大人たち”を応援する仕組みを作ろうと新たなスタートを切りました。過去には、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催もありましたが、皇學館大学のご理解・ご支援により全国から本当に多くの高校生たちが伊勢の地に集結し、交流・研鑽を行っています。

そして嬉しいことに、文部科学省をはじめとする多くの行政や団体のご後援に加え、企業の皆さまの多大なご協力により、今回も第9回として開催する運びとなりました。参加される高校や関係者が増え、年々賑やかになってきておりますが、今回もきっと素晴らしい大会になると確信しています。

本フェアは、企画・進行・運営を三重県の相可高校生産経済科&食物調理科・南伊勢高校・松阪商業高校・昂学園高校・三重高校・英心高校の高校生達が担当しています。さらにその高校生達を、皇學館大学の学生達が裏方で支えるという“生徒や学生主体のフェア”です。

『高校生の“伸びしろ”は、そのまま日本の“伸びしろ”だ！』という言葉に胸に、私たちは地域を守り育てる“未来の大人である若者たち”を、全員全力で温かく育んでいきたいと考えています。

最後に、このフェアの開催に当たりご協力、ご尽力を賜りました多くの“カッコいい大人たち”に感謝の意をささげ、今後とも“未来の大人たち”を応援し続けていくことを宣言いたします。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之

SBPとは

SBPは「Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト)」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には高校生が地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。



SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。この地域に根ざした取り組みが全国に広がっており、全国高校生SBP交流フェアにもこれまでに100近くの団体や高校が参加しています。



主催 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

委員長	岸川 政之	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 皇學館大学現代日本社会学部 教授 百五銀行 公務部 シニアアドバイザー
委員	中野 拓治	琉球大学農学部 客員教授
委員	新田 均	皇學館大学現代日本社会学部 教授
委員	浅沼 千恵	三重県立相可高等学校 校長
委員	杉谷 悟	三重県立南伊勢高等学校 校長
委員	西根 正子	三重県立松阪商業高等学校 校長
委員	山北 正也	三重県教育委員会高校教育課 課長
委員	山岡 茂治	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 副代表・理事

後援 文部科学省、内閣府(地方創生推進事務局)、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、度会町、皇學館大学、伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、伊勢度会ロータリークラブ、三重ニュービジネス協議会

協力 株式会社アイブレン、株式会社赤福、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、株式会社グラノ24K、学校法人皇學館大学、公益財団法人修養団、チューリッヒ生命保険株式会社、東京学芸大学、特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハビタの、株式会社中村製作所、鳴海製陶株式会社、NEXCO 中日本サービス株式会社、BS よしもと株式会社、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、株式会社フォーバル、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、合同会社プレシャスコネクション、株式会社ベネッセコーポレーション、三重県立伊勢工業高等学校、三重執鬼株式会社、三井化学株式会社、みらいこ株式会社、有限会社わらしべ 他

広報 マスコミ(TV、新聞等)への報道発表やフェア当日の取材依頼等に加えて、文部科学省のメールマガジン等への掲載などによる広報を実施

記録 映像・アニメーションスタジオ イエンスの塔 代表 佐藤 創
吉田エンターテインメント株式会社 代表取締役 吉田 勝、統括本部長 山田 舞

- 企画・運営スタッフ**
- 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト
岸川 政之、北川 清生、江角 悠太、太田 憲明、松浦 茂之、橋本 隆彦、高橋 貴博、吉田 拓未、阪井 宣行、南 直好、大原 颯太、早川 明宏、岩脇 幸哉、山口 隼人、西村 重哉、中村 武弘、村林 新吾、山岡 茂治、中沢 仁、岸川 晃大、岩城 裕子、佐藤 創
 - 三重県立相可高等学校 生産経済科
内山 菜那、森 恋雪、西村 美咲、宮崎 咲妃、吉田 璃瑠、愛橋 清楽、玉木 ひな
 - 三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP
山中 康生、若宮 悠一郎、加藤 愛梨、中瀬 葵
 - 三重県立松阪商業高校 松阪商業 SBP
市野 愛果、河合 優奈、久保 泰成、中谷 敬心、中村 和輝、村田 然、東谷 春枝、小笠原 咲良、北山 真音、小泉 妃渚、ゴチェスナ、永田 柊椰、田端 星奈
 - 三重県立昂学園高等学校 昂学園 SBP
大久保 龍真、大原 まさゆき、中山 皓陽
 - 学校法人三重高等学校
大道 健矢
 - 学校法人八木学園 英心高等学校
永田 媛仁、見並 涼、山口 春貴
 - 皇學館大学 大学生 SBP 研究部会
上村 駿介、三好 ともる、山田 泰資、伊藤 勝基、登 唯翔、松井 輪昇、森川 堅心、山内 一真、山川 流樹、山本 大貴、川島 秀之、高山 愛琉、立花 悠人、辻 雄輝、中川 脩斗、大市 彩乃、勝田 真生、國分 陽向、西塔 美玲、清水 逸希、庄山 千代里、関本 あゆ、辻岡 航、中村 遥人、西川 輝、山本 楓真
 - 皇學館大学 学生スタッフ
山田 隼斗、伊藤 藍史、岡 大翔、小筆 薫、鈴木 晴斗、田邊 怜央、谷殿 開星、中村 一颯、野崎 晴瑠、野田 旺助、古川 奏彩良、水谷 瞳人、三宅 瑠美奈、森 よしき

第9回 全国高校生SBP交流フェア

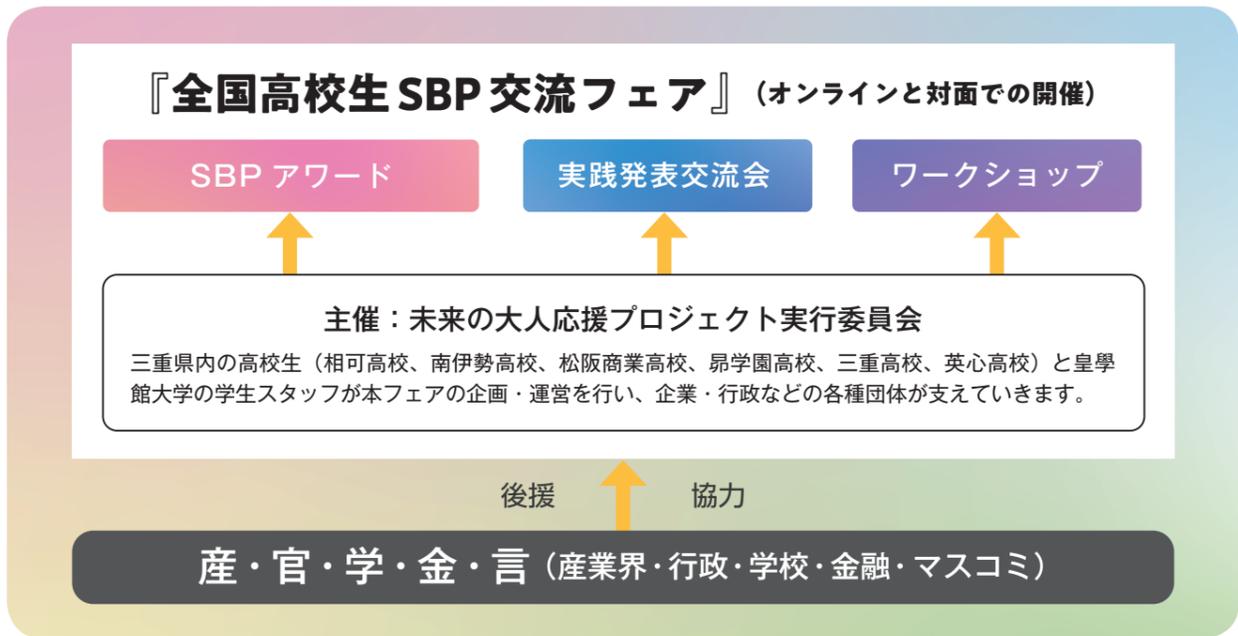
～学生の学生による学生のための祭典～

プログラム1 SBP アワード オンライン発表会 <small>(チャレンジ・プレミア)</small> 2024 7月27日(土)・28日(日)	プログラム2 SBPアワード 代表発表会、 実践発表交流会、ワークショップ、表彰式 2024 8月17日(土)・18日(日)	プログラム3 SBP プレミアステージ <small>(SBP モデル事例発表)</small> 2024 9月7日(土)
--	--	--

全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”しながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを目的に行う交流事業です。

当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画しています。

※SBPの“S”には、英語で「Social」「School」「Student」「Smile」「Sun」「Super」「Soul」「Sustainable」「Seed」「Sweets」「Special」「Surprise」など、未来に続く素晴らしい言葉があります。



色々な取り組みを進める高校生同士が集まり、交流を深めて視野を広げます。地域における貢献度など、互いを評価して進化していくことを目的にしており、商品や取組の完成度等を評価します。

取組発表について 書類審査 → オンライン発表会 → 代表発表会

チャレンジ部門では事前の書類審査を通過した最大24団体が本選に出場し、プレミア部門では文部科学大臣賞を受賞した団体が本選に出場します。それぞれオンラインでプレゼンテーション・質疑応答を行い、その中から決勝に参加するチャレンジ部門6団体とプレミア部門1団体が選ばれます。

成績評価について 『文部科学大臣賞』『三重県知事賞』『審査員特別賞』

チャレンジ部門では全参加団体に対し「極」(90点以上)、「輝」(75点以上)、「雅」(50点以上)の評価を行います。決勝では選ばれた6団体から、最も評価が高かった団体に「文部科学大臣賞」、次点に「三重県知事賞」を授与します。プレミア部門では、さらに継続した高い取り組みとして「金」、「銀」、「銅」の評価を行います。また、両部門で審査員全体での「審査員特別賞」を授与する場合があります。

各特別賞について 審査員・協賛企業がそれぞれ1団体を選出

SBPアワードに参加したすべての団体から、それぞれの基準・観点で選ばれた団体に次表の各賞を授与します。賞の選定は協力いただいた各企業等の基準・観点によるものとします。

SBPアワード チャレンジ部門 審査委員

SBPアワード チャレンジ部門 本選および決勝の審査をおこないます。

No	氏名	所属等	特別賞
1	梅澤 孝史	株式会社百五銀行 公務部 課長	百五銀行賞
2	角田 陽一郎	バラエティプロデューサー (元TBS番組プロデューサー)	角田陽一郎賞
3	海住 禎人	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	百五総研賞
4	加納 宏徳	コーポレートマーケティング部 Adobe Express 担当 SEO スペシャリスト	アドビ賞
5	小村 俊平	株式会社ベネッセホールディングス 経営企画推進本部 副本部長/ ベネッセ教育総合研究所 教育イノベーションセンター長	ベネッセ賞
6	相武 貴志	株式会社ベネッセコーポレーション 名古屋支社長	
7	塚本 悠	株式会社ベネッセコーポレーション 経営企画推進本部 国内教育変革推進部	
8	多田 祐美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループリーダー	三井化学賞
9	鉄矢 悦朗	東京学芸大学 教授	東京学芸大学賞
10	齋藤 真智子	東京学芸大学 アート・アスレチック教育センター 助教	
11	徳野 貞雄	トクノスクール・農村研究所 代表理事/熊本大学 名誉教授	徳野賞
12	中沢 洋子	特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハビタの 代表理事	ハビタの賞
13	山北 正也	三重県教育委員会 高校教育課 課長 (未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員)	—
14	河合 貞志	三重県教育委員会 高校教育課 課長補佐兼班長	
15	藻谷 浩介	株式会社日本総合研究所 主席研究員	藻谷賞
16	山川 流樹	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 現代日本社会学部 3年生	
17	川島 秀之	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 文学部 2年生	
18	高山 愛琉	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 現代日本社会学部 2年生	
19	西川 輝	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 現代日本社会学部 1年生	大学生 SBP 賞

※敬称略、50音順

特別賞審査員

参加団体の取り組みを各所属企業などの独自の基準に基づき評価をします。

No	氏名	所属等	特別賞
1	東 孝浩	三重ナルミ株式会社 取締役社長	NARUMI 賞
2	泉 正隆	BSよしもと株式会社 取締役	BSよしもと賞
3	高橋 真	BSよしもと株式会社 地域推進・事業局 局長	
4	大隈 富士夫	株式会社フォーバル 上席常務執行役員 F-Japan 本部長	フォーバル賞
5	青山 栄一	株式会社フォーバル F-Japan 副本部長	
6	太田 裕二	みらいこ株式会社 取締役	みらいこ賞
7	大原 颯太	株式会社アイブレーン	アイブレーン賞
8	河合 康典	NEXCO 中日本サービス株式会社 総務企画部 専門部長	NEXCO中日本サービス賞
9	小役丸 秀一	株式会社グラノ 24K 代表取締役	ぶどうの樹賞
10	濱田 典保	株式会社赤福 顧問	赤福賞
11	玉井 伸弥	株式会社赤福 総務部長	
12	藤井 恭子	学校法人皇學館大学 現代日本社会学部 准教授	皇學館大学 現代日本社会学部賞
13	武田 数宏	公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター 所長	SYD 賞
14	佐村 英之	合同会社プレシャスコネクション CEO	プレシャスコネクション賞
15	東世古 幸久	伊勢市産業観光部 参事兼商工労政課長	伊勢市長賞
16	福田 圭	有限会社わらしべ 代表取締役	たいやきわらしべ賞
17	中村 一颯	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 現代日本社会学部 2年生	
18	中村 颯仁	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 現代日本社会学部 2年生	
19	野田 旺助	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 現代日本社会学部 2年生	皇學館大学 学生スタッフ賞

※敬称略、50音順

SBPアワード プレミア部門 審査委員

SBPアワード プレミア部門の評価をおこないます。

No	氏名	所属等
1	新田 均	皇學館大学 現代日本社会学部 教授
2	小山 巧	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 顧問
3	太田 憲明	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 理事
4	植木 隆彦	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 理事
5	岩城 裕子	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 業務推進担当
6	荒木 康行	株式会社ちとせ 取締役社長 / 第9回全国高校生SBP交流フェア 審査委員長

※敬称略、50音順



実践発表交流会

8月17日(土) 17:30 ~ 20:00

これまでの『夜の市』をベースに、総合体育館や周辺にて高校生の様々な取り組みを発表する実践の場として開催されます。開発した商品の販売や紹介、パフォーマンスの披露など、お互いの交流を深め、刺激を受け合う場となります。



プログラム

- 16:30 ~ 17:45 夕食・準備 (17:30 会場集合)
- 17:45 開会式 (開会のあいさつ)
- 17:45 ~ 18:30 各団体による1分間PRタイム
- 18:30 ~ 19:40 フリータイム&パフォーマンス (踊り)
- 19:40 閉会式 (閉会のあいさつ)
- 19:40 ~ 片付け・解散 (20:00 完全撤収)

会場案内

- 1 メインステージ
- 2 出展ブース①~⑮
- 3 見学席 (2階)
- 4 本部・休憩所



出展団体

全18団体が出展・発表をおこないます。

●商品販売・取組出展・パフォーマンス・映像披露

出展番号	団体	出展内容
①	三重県立相可高等学校 NPO 法人植える美 ing 三重県立相可高等学校 生産経済科 農業クラブ	今までに開発したコスメやお茶、バジルオイルの販売を相可高校農業クラブと共同で出店
②	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ	サバローサカレーの販売
③	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部	晩柑ソースの販売
④	横浜市立横浜総合高等学校 横浜総合高校企画部	湯がいた薄切り餅に様々な味をのせて食べる「しゃぶもち」の販売
⑤	富山県立滑川高等学校 薬学部	滑川高校薬学部オリジナルクラフトコーラおよびスパイスセットの販売
⑥	大阪府立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト 大阪府立東住吉総合高等学校	つるりっぷパン、つる美石けん、ドリップコーヒーバック (個包装) の販売
⑦	山形県最上地域 地域開発チーム WATS	商品開発した金山産落花生使用のろーるなっつの販売
⑧	伊勢会会ロータリークラブ	おみくじコーナー (ガラガラを回して出た玉の色で2種類の景品がもらえます)
⑨	星高等学校 明星フェアトレ愛好会	明星高校×東京農工大学の共同開発「フェアトレードアイス」 「ミャンマー直送ドリップコーヒー」の販売
⑩	福井県立若狭高等学校 小浜未来構想学生グループ	エンタくんを使った探究交流会
⑪	三重県立松阪商業高等学校 松阪商業高校 SBP	松阪市の特産品、お菓子、お茶などの販売
⑫	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	梅やきとりのたれ・梅あられ等の開発商品の販売
⑬	愛媛県松野町 一般社団法人マツノイズムプロジェクト	マツノイズム版「ふるさと納税」のPR・商品販売等
⑭	沖縄県西原町 NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	「万能! サトウキビから取っタレ!」、町産品の販売
⑮	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	たけの米ん、仙臺サイダー、仙台べこタンカレー、シイタケのじく旨キーマカレー等の開発商品の販売
発表	三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR	圧巻のダンスを披露します!
発表	沖縄県西原町 NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	エイサー (沖縄の伝統的演舞)

ワークショップ

8月18日(日) 9:00 ~ 11:30

高校生の活動を応援していただいている企業や団体、大学生らによって開催されるワークショップです。それぞれの専門性に特化した、映像・動画・SDGs・レクリエーション・ビジネスといったプロの講師によってワークショップがおこなわれます。



WS 1 Sの絆焼きを焼いてみよう!

提供 | 有限会社わらしべ | 会場 | 倉陵会館 (学生食堂)



6秒に1枚売れているたい焼き店直伝の、美味しい焼き方・お客様への渡し方を学ぼう! 型、生地、環境によって変わる焼き方。いつでも美味しいものを焼けるよう、日頃の疑問をたい焼き店主にぶつけ、質問責めにするもよし、中身(フィリング)を変えて新メニュー開発をするもよし。プロの焼き方、こだわりから学び、Sの絆焼きをますますバージョンアップさせましょう!

WS 3 エニアグラムを使ったコミュニケーションWS

提供 | 皇學館大学 学生スタッフ×実行委員会事務局

会場 | 7号館3階 731教室



エニアグラムによるタイプ診断を使い、レクリエーションを交えながらコミュニケーションを学びます。

WS 5 学校メタバース制作ワークショップ

提供 | 株式会社アンシャンテ | 会場 | 7号館2階 722教室



3DCG制作ソフトのBlender(ブレンダー)、ゲームエンジンのUnity(ユニティ)、メタバースプラットフォームのSpatial(スペーシャル)を使った、学校メタバースのつくり方を学びます。

WS 7 デザインのプロに学ぶ缶バッジ作り

提供 | 株式会社アイブレーション

会場 | 7号館1階 711教室



缶バッジ作成を通してデザインを学ぼう! 当社はこれまでの全国高校生SBP交流フェアのパフレットのデザイン・印刷を担当してきました。みなさんの活動の中で商品開発やPRなどで活用できるようなデザインのコツを伝授します!

WS 2 世界でひとつのオンリーワンマグ作り

提供 | 鳴海製陶株式会社・三重ナミ株式会社

会場 | 7号館1階 712教室



世界の5つ星ホテルで使われているNARUMI ボーンチャイナの秘密を解き明かしていきます。そしてNARUMI ボーンチャイナの素地に転写紙を貼ってあなただけのオンリーワンのマグカップを創って頂けます。

WS 4 ミステリーゲームから学ぶ情報整理の技術と考え方

提供 | 特定非営利活動法人 津市 NPO サポートセンター

会場 | 7号館2階 721教室



推理小説のようなボードゲーム「真紅のアンティーク」を使います。次々と出てくる情報をどのように整理し、記録し、議論し、正しい答えを導き出すのか。情報整理の技術や考え方、ファシリテーションのノウハウなどをお伝えします。

WS 6 防災ってなんの? を考えるワークショップ

提供 | 国土交通省中部地方整備局 紀勢国道事務所

会場 | 7号館3階 732教室



能登半島地震の支援体験や、災害に対する基礎知識を聞いたうえで、よく聞く「防災」という言葉を自分自身で定義し、今すぐ行動できる知識とスキルを身につけます。防災をテーマに普段から、「自分が今できることは何なのか?」を明確にし、強く生きるための行動につなげていきましょう。

(大人向け) SBP 講演会

提供 | 皇學館大学現代日本社会学部 教授 新田 均×

(一社) 未来の大人応援プロジェクト 代表 岸川 政之

会場 | 6号館2階 622教室



SBPの基本的な内容から、全国の最新事例までSBPについていろいろなお話をさせていただきます。生徒たちがワークショップに参加している様子を見られると思いますので出入りは自由です。

プログラム1 SBP アワード オンライン発表会 (チャレンジ部門・プレミア部門)

SBP アワード オンライン発表会に出場する参加団体が、チャレンジ部門のA・B・Cの3つのグループとプレミア部門に分かれ、オンラインで取り組みを発表します。発表の様子はYoutubeのライブ配信にて視聴できます。

7月27日(土) チャレンジ部門 グループA / チャレンジ部門 グループB

A: 9:00 ~ プログラム1 開会式
B: 13:00 ~
○発表団体は時間までに「SBP アワード オンライン発表会 会場」に入室する
○挨拶・審査委員・発表団体紹介・ルール説明など

A: 9:30 ~ SBP アワード オンライン発表会 チャレンジ部門 発表
B: 13:30 ~
○参加団体の発表者が順番に発表を行う(5分)
○各発表が終わり次第、審査委員の質疑応答を実施(5分)

A: 12:00 ~ プログラム1 閉会式
B: 16:00 ~
○講評(各グループの審査代表)
Aグループ…三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 グループリーダー 多田 祐美
Bグループ…株式会社百五総合研究所 代表取締役社長 海住 禎人



7月28日(日) チャレンジ部門 グループC / プレミア部門 グループP

C: 9:00 ~ プログラム1 開会式
P: 13:30 ~
○発表団体は時間までに「SBP アワード オンライン発表会 会場」に入室する
○挨拶・審査委員・発表団体紹介・ルール説明など

C: 9:30 ~ SBP アワード オンライン発表会 チャレンジ部門 発表
P: 14:00 ~
○参加団体の発表者が順番に発表を行う(5分)
○各発表が終わり次第、審査委員の質疑応答を実施(5分)

C: 11:30 ~ プログラム1 閉会式
P: 15:30 ~
○講評(各グループの審査代表)
Cグループ…株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介
Pグループ…皇學館大学 現代日本社会学部 教授 新田 均



結果発表および講評 8月4日(日) 10:00 よりオンラインにて実施します。チャレンジ部門のA・B・Cの各グループから2団体ずつ、プレミア部門から1団体 合計7団体が選出され、選ばれた団体はSBP アワード代表発表会にて発表をおこないます。

プログラム2 SBP アワード 代表発表会 (チャレンジ部門・プレミア部門)・実践発表交流会・ワークショップ・表彰式

8月17日(土) SBP アワード 代表発表会、実践発表交流会

SBP アワード 代表発表会(皇學館大学の講堂にて取組発表)をおこないます。その後、「実践発表交流会」の中で参加団体の取組(商品の販売や作品発表)を発表しながら交流をおこないます。

12:00 ~ 受付開始 [会場] 皇學館大学 記念講堂入り口(ロビー)
○宇治山田駅からバスを用意(公共交通機関利用時) 11:00、11:30、12:00を予定
○受付終了後、荷物を預け、記念講堂に移動
○すべての荷物に荷札を付ける 青の荷札:修養団へ配送(バスに積み込む)、白の荷札:配送無し(ロビーの指定場所へ)

12:45 ~ オープニングセレモニー [会場] 記念講堂
(進行:三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP × 皇學館大学 大学生 SBP 研究部会)

13:00 ~ プログラム2 開会式 [会場] 記念講堂
○主催者代表挨拶 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川 政之
○後援団体代表挨拶 皇學館大学 学長 河野 訓
○審査委員紹介・運営スタッフ紹介、予定説明、諸連絡など

13:30 ~ SBP アワード代表発表会(発表10分、質疑応答10分) [会場] 記念講堂
○開会挨拶 文部科学省 総合教育政策局地域学習推進課 課長補佐 榎木 要悟
○チャレンジ部門 代表発表会進出の6団体が発表をおこなう(エントリー団体総数:19団体中)
○プレミア部門 代表発表会進出の1団体がSBPのモデルとして発表をおこなう(エントリー団体総数:3団体中)

16:30 ~ SBP アワード代表発表会終了・実践販売交流会準備
○倉陵会館(学生食堂)にて早めの夕食
○総合体育館へ移動し準備をおこなう
○審査員は631教室にてSBPアワードの審査を行い、終わり次第実践発表交流会へ合流



17:45 ~ 実践発表交流会 [会場] 総合体育館
(進行:三重県立松阪商業高等学校、三重高校、沖縄県西原町 NS²BP)
○高校生が司会進行を行い、各団体の1分間PRやダンス・映像による実践発表を披露する
○各団体のブース(取組発表、販売など)を設け自由に交流を行う

19:40 ~ 実践発表交流会終了(プログラム2 初日終了)
○片付け・解散、(公財)修養団伊勢青少年研修センターや各団体が予約した宿泊施設に移動
○(公財)修養団伊勢青少年研修センターへのバスの時間:20:00、20:30



8月18日(日) ワークショップ・SBPセミナー、結果発表・表彰式

協賛企業や団体が高校生のためにワークショップをおこないます。また大人のための交流・セミナーを同時開催します。昼食には相可高校食物調理科のお弁当をいただき、その後SBPアワードを含めた結果発表・表彰式、審査員や大人との交流をおこないます。

6:30 ~ 起床 ※(公財)修養団伊勢青少年研修センター宿泊者の場合
○朝食(6:30~7:30)、準備ができ次第、宿泊施設を出発 バスの時間:7:30、8:00
○到着後、前日と同じ場所に荷物を置き、倉陵会館(学生食堂)または7号館へ移動

9:00 ~ ワークショップ・SBPセミナー
○事前に登録した8つのワークショップ(9:00~)、SBPセミナー(9:30~)の会場に集合
○引率:審査員・関係者など大人の関係者はSBPセミナーに参加(出入自由)

11:30 ~ 昼食 [会場] 倉陵会館(学生食堂)
○ワークショップ終了後、学生食堂へ移動
○高校生レストランで活躍する相可高校食物調理科によるお弁当

13:00 ~ 結果発表・表彰式 [会場] 記念講堂
① SBP アワード・審査員特別賞表彰
○SBPアワードチャレンジ部門「極」「雅」、プレミア部門「金」「銀」「銅」の表彰をおこなう
○特別賞の審査員からそれぞれの特別賞の講評・表彰をおこなう

14:30 ~ ② 審査員交流 [会場] 倉陵会館(学生食堂)ほか
○審査員特別賞を授与した審査員と受賞団体がそれぞれ交流をおこなう
○その他の参加団体については大学生や審査員、関係者との交流をおこなう

15:10 ~ ③ 文部科学大臣賞・三重県知事賞・審査員特別賞表彰
○SBPアワード決勝の団体から、文部科学大臣賞、三重県知事賞、審査員特別賞の発表・講評・表彰をおこなう
○プログラム3「SBPプレミアステージ」へ出場する団体の発表をおこなう

15:30 ~ プログラム2 閉会式
○未来の大人応援プロジェクト実行委員会 高校生委員長 内山 菜那
○閉会の辞 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川 政之
○閉会式後、記念撮影

16:00 ~ 解散(プログラム2 終了)
○必要な団体にはバスにて駅まで送迎を実施。 バスの時間:16:00、16:30



プログラム3 SBP プレミアステージ

第9回SBP交流フェアにて文部科学大臣賞を受賞した1団体、SBPアワードのプレミア部門から1団体、実行委員会推薦として1団体の合計3団体が東京六本木にてSBPのモデルとなる取り組みを発表します。

9月7日(土) SBP プレミアステージ

13:00 ~ プログラム3 開会式 [会場] ハリウッド美容専門学校
○主催者代表挨拶、来賓紹介、発表団体の紹介

13:30 ~ プレミアステージ発表(発表10分、質疑応答10分)
○選出された3団体がSBPのモデルとなる取り組みを発表する

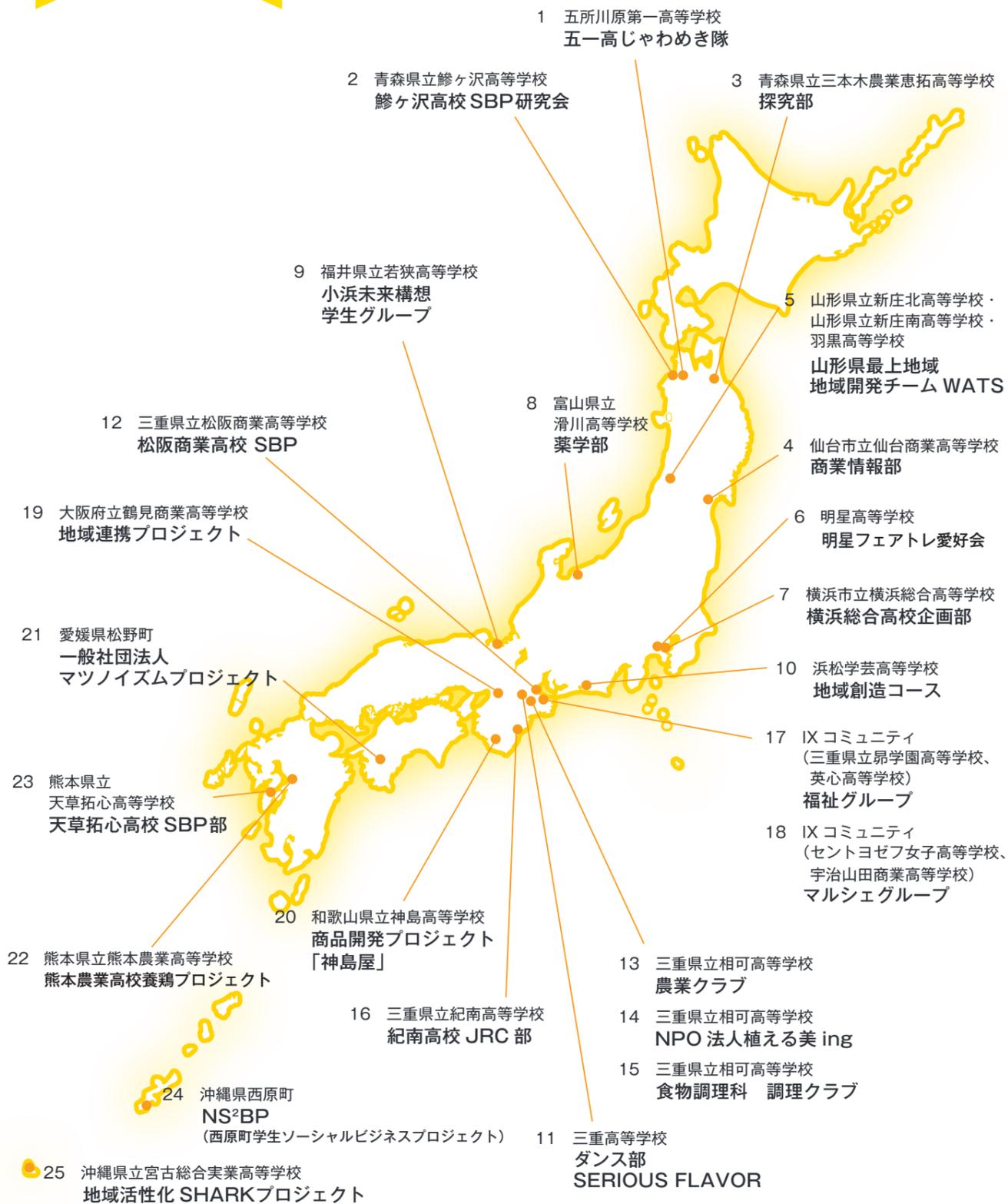
15:00 ~ 講評・交流
○講評 第9回SBP交流フェア 審査委員長 荒木 康行(株式会社とせ 取締役社長)
○参加団体との交流(後援協賛団体・関係者・審査委員ほか)

16:00 ~ プログラム3 閉会式
○閉会挨拶、記念撮影



参加校 一覧

日本全国から 多くの高校生たちが参加!!



●...交流会出展

	ブロック	参加団体・高等学校名	SBP アワード	実践 発表交流会
1	北海道・東北	五所川原第一高等学校 五一高じゃわめき隊	B-3	
2	北海道・東北	青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校SBP研究会	C-6	
3	北海道・東北	青森県立三本木農業恵拓高等学校 探究部	A-6	
4	北海道・東北	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	C-5	●
5	北海道・東北	山形県最上地域 地域開発チーム WATS (山形県立新庄北高等学校、山形県立新庄南高等学校、羽黒高等学校)	B-5	●
6	関東	明星高等学校 明星フェアトレ愛好会	A-2	●
7	関東	横浜市立横浜総合高等学校 横浜総合高校企画部	B-1	●
8	中部	富山県立滑川高等学校 薬学部	A-3	●
9	中部	福井県立若狭高等学校 小浜未来構想学生グループ	B-4	●
10	中部	浜松学芸高等学校 地域創造コース	P-1	
11	近畿	三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR	A-1	●
12	近畿	三重県立松阪商業高等学校 松阪商業高校 SBP		●
13	近畿	三重県立相可高等学校 農業クラブ	C-1	
14	近畿	三重県立相可高等学校 NPO 法人植える美 ing	B-2	●
15	近畿	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ		●
16	近畿	三重県立紀南高等学校 紀南高校 JRC 部	C-4	
17	近畿	IX コミュニティ 福祉グループ (三重県立昂学園高等学校、英心高等学校)	B-7	
18	近畿	IX コミュニティ マルシェグループ (セントヨゼフ女子高等学校、宇治山田商業高等学校)	A-4	
19	近畿	大阪府立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト		●
20	近畿	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	A-5	●
21	中国・四国	愛媛県松野町 一般社団法人 マツノイズムプロジェクト	C-3	●
22	九州・沖縄	熊本県立熊本農業高等学校 熊本農業高校養鶏プロジェクト	C-2	
23	九州・沖縄	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部	P-2	●
24	九州・沖縄	沖縄県西原町 NS ² BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	P-3	●
25	九州・沖縄	沖縄県立宮古総合実業高等学校 地域活性化 SHARK プロジェクト	B-6	

オープン参加団体

- 26. 長野県高森町 南信州 SBP クラブ
- 27. 愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP 班
- 28. 三重県立昂学園高等学校 昂学園 SBP
- 29. 三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP
- 30. 英心高等学校 Team SBP
- 31. IX コミュニティ (伊勢志摩地域高校生グループ)
- 32. 大阪府立東住吉総合高等学校
- 33. 佐賀清和高等学校 文化教養科 SBP
- 34. 韓国国際調理高等学校



五所川原第一高等学校

五一高じゃわめき隊

メバ焼き復活プロジェクト



私たちは、高校の部活動ではなく有志メンバーが集り「地域を学びの場」とすることを合言葉に活動しています。地域を学びのフィールドにすることで様々な方と出会い、私たちがやりたい活動を自分自身で考え実行することで、ヒト・モノ・コトに関わることができると考えています。SBP 活動では以前行われていた中里高校 SBP が行っていた「Sの絆焼き型メバ焼き機」を活用してメバ焼きの復活に取り組みました。

また、「OSAGARIBAKO プロジェクト」と題し、地域で使われなくなった衣類や文房具をカンボジアの村へ届ける国際支援も新たに行いました。このような取り組みは私たち高校生の視点からアイデアを出し地域活性化について考え行動しています。そして、地域の方をはじめ多くの方々から私たちの活動に関わっていただくことで地域と繋がっていけるのではないかと考えます。これからも主体的に自ら考え行動して少しでも社会が良くなるように頑張りたいです。



青森県立三本木農業恵拓高等学校

探究部

課題というマイナスは、成長の場というプラスに！

本校は、青森県で唯一普通科と専門学科が併設されている学校で、幅広い学びと体験ができる学校です。今年で創立 126 年目を迎える伝統校で、長い歴史で培った本校独自の農業教育は、私たち生徒の専門的な知識や技術の向上だけでなく、健康で豊かな人間性を育み、生きる力を身につける事に繋がっています。

私たち探究部は、地域課題について本校だからできるアプローチを展開しており、普通科と専門学科の特徴を活かした活動を行っています。

今回チャレンジアワードで発表する内容は、郷土料理を活用し、青森県の基幹産業である農業や私たちが学ぶ観光を刺激することで、人口減少や経済・産業活性化につなげる活動をご紹介します。この活動は令和6年度現在で2年目であり、昨年度の報告と今年度の展望について発表します。



青森県立鱒ヶ沢高等学校

鱒ヶ沢高校 SBP研究会

忘れぬ感謝 恐れぬ失敗 鱒高魂 ぶちかませ☆



私たち鱒ヶ沢高校SBP研究会は、今年で活動9年目を迎えました。現在の部員は、6名で結成当時から合言葉「鱒ヶ沢町をPRする」を受け継ぎ、活動しています。

これまで、「0歳からのSBP」、「地域活性化マン戦隊ショー」、セレクトギフト「鱒の味」製作、「力士くんおやき」販売、静岡県浜松学芸高等学校と協働した「胸キュンプロジェクト」など様々な取り組みをしてきました。現在、地元企業の CONVEYさんと新たに「おさかなスーププロジェクト」を進めているところです。

多くの方々に支援をさせていただきながら、ここまで活動を継続することができています。感謝の気持ちを忘れず、失敗を恐れず、楽しみながら、自分たちのアイデアをどんどんアピールし、鱒ヶ沢町の活性化をめざしてチャレンジしたいと思えます。SBPの交流を通じて、たくさんの方のことを学びたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



仙台市立仙台商業高等学校

商業情報部

まるも Re (り) :start!
たけのこに込めたありったけの想い

仙台市立仙台商業高等学校商業情報部は今年で 16 年目を迎え、現在部員 27 名で活動中です。私達は、地元への地域貢献を目指して、地元の企業と協力し、商品開発や新たなビジネスの形を考案する活動、販売実習やボランティア活動などにも積極的に取り組み、地域の方々との交流も行っております。

私たちは今、災害やその風評被害に着目し、復興作業が続いている丸森町の現状を知り、丸森町の力になりたいと思い活動しています。そこで、丸森町を PR するために風評被害に遭い、長い期間に渡り、出荷制限されていたたけのこを使った商品開発をしました。商品開発にあたってグルテンフリーの麺を製造しているマルコー食品株式会社様と共同開発しました。世界的に注目されているグルテンフリーにしたのは、小麦アレルギーで食べるものが制限されている人にも安心して食べてもらいたいと思ったからです。

今後は、この商品の広報活動をしていきたいと考えています。



山形県立新庄北高等学校、山形県立新庄南高等学校、羽黒高等学校

山形県最上地域 地域開発チーム WATS

特産品で商品開発！
金山産落花生で ロックン ろーるなっつ！

私たち WATS（ワッツ）は、山形県新庄市の中心商店街を拠点に活動する高校生のグループです。地域をもっと良くし、自分たちが楽しく過ごせる場所にしたという思いを大切にしながら、様々な取り組みを行っています。今回の活動では、地元の特産品を使ったスイーツを開発し、販売することに挑戦しました。そして、ふるさと納税の返礼品にすることを市長に提案しました。

このプロジェクトは、もともとあった新庄信用金庫と金山町新産地開発協議会による国内産落花生の産地化を目指す産学官金連携の取り組みと私たちがコラボすることで、これまで以上に注目され、商品化に貢献することができました。そしてそれは私たち自身も成長を感じることができました。

これまでの努力と成果をまとめ、私たちの奮闘記として発表します。様々なチャレンジを通じて得た貴重な学びを皆さんにお伝えしたいと思います。地域をより良くするための高校生の力をぜひ感じてください。



横浜市立横浜総合高等学校

横浜総合高校企画部

いつでもだれでもできる避難所の準備を広めよう！

もし、今、大きな地震が起こり、避難所にたどり着いたときにその施設のどこが避難所なのか、けがをしているので救護室はどこか、ペットは連れていていいのか、いろいろ聞きたいが本部はどこなのか・・・あの人が担当者らしいがみんなから質問攻めにあって近づくれない。こんな時、予め場所や危険を示す掲示物が作られており、貼るだけにしておけば避難者の混乱と担当者の負担を軽減できます。

また、避難所では恐怖と不安が怒りに代わり、「子どもをだまらせろ!」「なんでもネットでやれと言われても・・・」「それはあんたのしごとだろ!」などの怒りが飛び交っています。そんなときも予想されるトラブルを未然に防ぐ標語を入れたポスターが貼られていたら避難者間のトラブルを抑止できるのではないのでしょうか。意外に作られていないこれらの掲示物を私たちは販売活動を通して得た利益で「避難所セット」を作り、見本として全国に配布している活動です。



明星高等学校

明星フェアトレ愛好会

フェアトレードで街をつなげる
～ Glocal shopping 10%～

こんにちは！私たち明星高校は、東京のど真ん中、府中市にあり、昨年度“創立100周年”を迎えた歴史ある学校です。本校では、昨年度より“フェアトレード”を推進・拡大する活動を行っています。

3月には、府中市のご後援を賜り、「フェアトレードフェス」を開催しました。市内の多くのカフェやショップにご出店いただき、また本校からは、“ミャンマー直送ドリップコーヒー”や、明星高校×東京農工大学の共同開発“フェアトレードアイス”を販売し、たくさんの方に手に取っていただきました。

当イベントを通して、府中市内外の多くの方々の目に留まり、現在では同様の活動を行う高校と交流、また講演会などに登壇させていただき、フェアトレードの輪を拡大しております。

将来的には、学校がある府中市を東京都で最初の“フェアトレードタウン”として認定していただき、地元産業の活性化を目指しております。次の100年に向けて、新たな一歩を踏み出しています！



富山県立滑川高等学校

薬学部

クラフトコーラで広がる、私たちの世界
～地域と繋がる薬学部～

滑川高校薬業科は、全国でも珍しい「くすり」を学ぶ学科です。薬業科の生徒が集まってできた「薬学部」は、学科の特色を生かした商品開発に取り組んでいます。ここ最近では、クラフトコーラに取り組んでいます。クラフトコーラに使われているスパイスやハーブは「生薬」であり、漢方薬の素材としても使われています。それを使ったクラフトコーラは後ろめたさを感じることなく飲める、健康的な飲み物です。

現在は製品化が大詰めを迎えており、もうすぐ私たちの考えたクラフトコーラが販売される予定です。また、富山市のチョコレートショップで提供されているクラフトコーラについても、共同で開発した新商品が今夏より提供される予定です。

クラフトコーラに取り組むようになり、私たちは多くの人とコラボしてきました。そのおかげでマルシェだけでなく、地域の問題を学ぶためにボランティア活動にも取り組むようになりました。地元滑川市だけでなく、富山県を高校生の力で活性化できたら、と考えています。

交流フェアでぜひ、滑川高校薬学部特製のクラフトコーラを楽しんでください。



福井県立若狭高等学校

小浜未来構想学生グループ

小浜をええスペース (E-space) に!

こんにちは!小浜未来構想学生グループです。この団体は私達で5年目になります。地域の方とともに小浜を活性化させたい!という思いを持った学生のアクションから始まり、「私もやってみたい!」という有志の学生が毎年参加しています。

これまでの活動では、コロナ禍の飲食店の店内利用客の減少と学生の学習スペースが不足しているという課題解決のため、市内の店舗と協力して学生向けに学習の場を開放するという取り組みを中心としてきました。今年度からは社会情勢の変化を踏まえて方向性を改め、以前から行っている活動に加えて、地域に存在する多様な課題に対して解決したいと意欲的な学生を集め、お互いに学び合い高め合いながら地域づくりに貢献していきます!

キャッチフレーズにあるように小浜という街をあらゆる人にとって「ええスペース」にしていけるよう地域の方々との協働しながらアクションしていきます!



三重高等学校

ダンス部 SERIOUS FLAVOR

ダンスで未来を切り開く!
あたいらのダンスで日本中を元気に!

私たちは三重高校の校訓である「真剣味」をもじって「SERIOUS FLAVOR」という団体名で活動しています。(通称シリフレ) 入部者の7割がダンス初心者という珍しい部活ですが、「ダンスを楽しむ!」ということを中心に、「チームワーク」はもちろん、「ノリと勢い」や「他校ダンス部にはない独創的なアイデア」を武器に、全国大会等で戦っています。シリフレの基本的な活動は、全国大会に繋がるような「コンテスト・大会への挑戦」、学園祭、オープンスクールなどの「学校行事での発表」、地元のお祭り、小中学校等でダンスを披露する「地域での活動」の3つです。頂いたご依頼はできる限り全て引き受ける「若手芸人スタイル」でバシバシ活動しています!他にもアーティストのバックダンサーや、テレビ出演など、様々なメディアでも活動をさせていただいています。

最近では企業様とのPR動画を企画・振付・撮影・編集まで全てシリフレが行うというご依頼が頻繁に来るようになり、ご好評をいただいています!私達のアイデアや青春を感じる爽やかなダンスが、企業様と高校ダンス部を結ぶ新たな架け橋になりたいと考え、応募をさせていただきました。



浜松学芸高等学校

地域創造コース

地域の魅力発進に挑戦
誰もが楽しめる「浴衣 DeNight」!

私たち浜松学芸高校地域創造コースと社会科学部地域調査班は、様々なプロジェクトを通じて地域の魅力発進に取り組んでいます。私たちの住む浜松市は浴衣取扱量日本一を誇る街であるとともに、東京・大阪と並ぶ注染染めの産地です。

しかし、安価な輸入浴衣の増加によって注染浴衣の販売は年々減少しています。地場産業である浴衣の生産や販売はもちろんですが、浴衣を着るといった文化もイベントのコスプレのようになってしまっています。私たちは浴衣を着る機会を創出することで、浴衣を着てみたいと思える仕掛けを創り出そうと考えています。

浴衣アイドル「Tint2」、そして今回の「浴衣 DeNight」のように、「自由に浴衣を自由に着て楽しんで欲しい」、「次世代のユーザーに浴衣に憧れて欲しい」という願いを込めて活動しています。



三重県立松阪商業高等学校

松阪商業高校 SBP

現代の松阪商人になる!

松商SBPは、8年半前、松阪商業高校がSBP活動を担っていくために設立された同好会です。設立当初は7名で活動し、現在は11名で活動しています。高校3年間あきらめずにSBPに取り組んで卒業したOBは20名以上になり、中には卒業後も引き続きSBP活動に取り組んでいる人もいます。

松商SBPは、『現代の松阪商人になる!』という目標を掲げ、「つくる」、「つながらる」、「まなぶ」、の3つを活動の柱として、松阪地域の特産品を活用した商品開発や販売活動に取り組んでいます。開発した商品を販売して得た利益で、松阪市行政チャンネルやSNSを活かした広報活動や県内外の様々なイベントに参加し、松阪地域をPRしています。今までに、松商セレクトギフトや松阪豚ミートパイを商品開発し販売してきました。現在は、1年生を中心に新たな商品開発に取り組んでいるところです。今後も、松商SBPが核となり地域貢献の輪を広げ、活動に励みます。



三重県立相可高等学校

農業クラブ

鯉と一緒に人と環境に優しい稲作！

♡恋するお米プロジェクト♡

私たちは農業クラブのプロジェクト学習として有機稲作に挑戦しています。廃菌床や小豆かすなどの地域から出る産業廃棄物を相可高校で肥育する松阪牛の牛糞と発酵させ堆肥として利用することで、無化学肥料での栽培を行っています。除草剤などの農業も一切使用せず、鯉を水田に放流する養鯉栽培によって除草を行っています。この鯉も養鯉場で採卵され、選別後に廃棄されるはずだった捨てられる命です。このように地域の課題である廃棄物問題解決を目指すと同時に、収穫したお米は地域のイベント販売や、ふるさと納税返礼品として利用され地域の魅力 up に貢献しています。

地域の課題である廃棄物を有効利用し、鯉と一緒に安心安全で人にも環境にも LOVE な、恋するお米を生産するプロジェクトです。



三重県立相可高等学校

食物調理科 調理クラブ

めざすは「食のプロフェッショナル」！



相可高校食物調理科では、「食のプロフェッショナル」に求められる「技術力」「経営力」「商品開発力」「コミュニケーション力」「グローバル力」の「5つの力」を3年間で学びます。

昨年、三重県志摩市で開催の「先進七カ国（G7）交通相会合」においては、出席された各国の閣僚や関係者に私たち相可高校食物調理科も地元産の魚などをネタにした握り寿司をふるまい、大好評をいただきました。

また、高校生レストラン「まごの店」は総合的な「食」の技術習得、発信の場であり、三重県産の食材を中心にオープンキッチンで調理することで、「食の安心・安全」、「トレーサビリティ」、「地産地消」をねらいとしたレストランです。活動の主体は「調理クラブ」で、開店以来、毎営業日には、いつも満員の大繁盛で、生徒たちが交代して運営を行っています。

献立は、季節の食材をてんぷらや煮しめにした「花御膳」と、地元多気町産の伊勢いもを練り込んだとろろ麺が名物の「まごの店定食」、地域の名産松阪牛を使った「松阪牛すき焼き茶漬け定食」、尾鷲特産の真鯛をごま醤油に漬けた「尾鷲の真鯛茶漬け定食」など地元食材をふんだんに使った料理を提供し、完全予約制の季節の特別コース料理も提供しています。ぜひみなさん、一度食べに来てくださいね！



三重県立相可高等学校

NPO 法人植える美 ing

4 代目ロンリーゴーストバスターズ
～寂しさを園芸で退治しよう！～

私たちは園芸福祉活動に取り組んでいます。園芸福祉活動は相可高校生産経済科の SBP の礎でもあります。また、先輩方が高校生による NPO 法人植える美 ing を設立し、高齢者施設や保育園、小学校などでの野菜栽培や花づくり、公園の管理や運営、水質調査など多くの活動を展開しています。その中の一つが LGB プロジェクトです。LGB とは Lonely Ghost Busters の略で寂しさというゴーストを園芸福祉で退治しようという取り組みです。

具体的には地域に住む 1 人暮らしの高齢者宅へ訪問し、園芸活動を行うことによって寂しさをなくす活動です。

この活動で高齢者の笑顔が増え楽しい時間を一緒に過ごすことをできたこと、心理的 well-being 尺度調査を実施し園芸福祉で幸福感を得ることを実証することもできました。LGB プロジェクトは健康なまちづくりにもつながる活動です。さらなる園芸福祉の普及に向け挑戦を続けたいです。



三重県立紀南高等学校

紀南高校 JRC 部

震災で悲しみを抱える人を生まないために + (プラス)

私たちは、令和 3 年度から行われてきた「防災きかんプロジェクト」を引き継ぎ、「防災きかんプロジェクト+ (プラス)」と名称を改めて、「紀南高校生が安心・安全に学校生活が送れるよう、津波避難の在り方を見直す」ことを目的に、「地域創造学」という授業を受けている 3 年次生の先輩方の力もお借りして活動しています。今回のプロジェクトでは、南海トラフ地震が発生した際、本校生徒が安全に津波からの避難ができるよう、避難マニュアルを見直したり、避難ルートに横断歩道を設置したり、二次避難場所を新たに見つけたり、避難場所に本校生徒用の防災備蓄倉庫を新設したりすることなどを考えています。また、10 月には、私たちが企画する、本校初の全校津波避難訓練を行う予定です。さらには、地域にお住いの要支援者の方々への対応などにも、高校生の力を活用していきたいと考えています。まだ活動が始まったばかりで、解決しなければならない課題は多いですが、地域と連携しながら目的を達成できるよう頑張っていきたいと思っています。



IX コミュニティ

福祉グループ (三重県立伊勢学園高等学校、英心高等学校)

絆焼きで子どもたちの未来を焼き上げる！
～子どもたちが社会と繋がりを築ける居場所を！～

IX コミュニティは、IX ホールディングス株式会社と一般社団法人未来の大人応援プロジェクトが共同し、2023年10月に発足したコミュニティです。伊勢志摩地域(=I)を新しい時代に向けて力強くトランスフォーム(=X 変革・変身)させたいという思いで、地域の若者が、伊勢志摩の地域課題に対し、SBP の実践を行っています！

私たち、IX コミュニティ福祉グループは、フリースクールや学習支援を行う「特定非営利活動法人玉絆」と協働し、そこにいる子どもたちが SBP を通じて、社会と繋がりを築けるような居場所を創り上げたいと思います。そこで、愛知県立高浜高等学校地域活動部 SBP 班の活動である「SBP 絆プロジェクト」を活用し、子どもたちとオリジナルたい焼きの販売を行いながら、子どもたちに様々な学びを提供し、私たちも新たな発見や学びを見つけ出していきたいと思ひます！



大阪府立鶴見商業高等学校

地域連携プロジェクト

2025 年大阪万博！集まれ大阪に！
私たちにできる「いのち輝く未来社会のデザイン」を！

本校は、1990 年「国際花と緑の博覧会（花博）」の開催地で有名な「花博記念公園鶴見緑地」に隣接した緑豊かな商業高校です！「地域連携プロジェクト実行委員会」は、「鶴見区を元気に！」をモットーに、商品開発・販売実習を中心に活動をおこなってきました。現在までに、地元の商社・スーパー・メーカーと協力して、炭酸飲料の



開発・販売や、大阪市鶴見区のマスコットキャラクター「つるりっぷ」とコラボした LINE スタンプの制作、地元商店街のインスタ紹介動画の配信をおこないました。

また昨年からは、大阪万博に向けて活動中です！本校は「EXPO 教育プログラム」のモデル校として、千利休のふるさと大阪にて、「茶道で伝えるおもいやりのあふれる未来社会」をデザイン中。この活動は、(株)NTT ドコモ様の協力を得て、触覚共有技術「FEELTECH®」をヒントに未来の大阪の活性化を目指し SBP を実践中です！私たちの活動映像を見ながら、鶴見区名物「つるりっぷパン」をご賞味あれ！



IX コミュニティ

マルシェグループ (セントヨゼフ女子高等学校、宇治山田商業高等学校)

マルシェで届ける「楽しさ」と「発見」！

IX コミュニティは、IX ホールディングス株式会社と一般社団法人未来の大人応援プロジェクトが共同して運営を行う、2023 年 10 月に発足したコミュニティです。伊勢志摩地域(=I)を新しい時代に向けて力強くトランスフォーム(=X 変革・変身)させたいという思いで、若者が伊勢志摩の地域課題に対し、SBP の実践を行っています！

IX コミュニティ マルシェグループは、マルシェ出店からイベント運営のノウハウを学び、マルシェという「イベントの提供」を通して「何を届けたいのか」、それを「なぜ届けたいのか」を考えて SBP を行っています。

一部の運営に関わった「おかげさまマルシェ」での出店にあたり「子どもたちの休日のマンネリ化」を課題として挙げ、特別な休日を過ごしてもらうことをテーマに様々なアクティビティを企画しました。また、食物アレルギーをもつメンバーがアレルギー表示のテンプレートを制作し、誰もが楽しめるイベントを目指しました。



和歌山県立神島高等学校

商品開発プロジェクト「神島屋」

梅の魅力を伝えたい
～やっぱりおいしい梅と米！～

本校は和歌山県南部に位置し、大正5年に田辺実業学校として発足してから今年で105年目を迎える学校です。学科は経営科学科と普通科の2学科があります。平成24年度より、経営科学科における課題研究として「商品開発」の講座を設け、地域にある唯一の商業学科として、特産品である「梅」の消費拡大に協力できるように、「梅」を用いた商品開発に取り組んでいます。また、開発した商品は「神島屋」として、地域内外の様々なイベントで販売しています。

10年以上続けてきた「紀州南青梅」をPRする活動では、地域内外で年間に20,000袋以上を販売する「梅あられ」や、イベント販売で大人気となっており年間に40,000本以上販売している「梅やきとり」など、梅を用いた人気商品や様々なレシピもありますが、今回は原点に立ち戻って日本の伝統としての「梅と米」の組み合わせについてもう一度検証し、その奥深さをみなさんに伝えていきたいと考えました。



愛媛県松野町

一般社団法人マツノイズムプロジェクト

高校生でまちのプロデューサーやっとなるけん!

私たちの住む松野町では人口 3,700 人の愛媛県で一番小さな町です。そんな松野町は「森の国」と呼ばれており、その名の通り総面積のうち 84% が森林です。

松野町は高知県との境に位置しており、その昔、松丸街道を行き交う旅人や地元の人で賑わう町でした。そしてかつて松野町にも高校がありました。現在は高校はありません。それでも高校生はいます。その高校生が町の賑わいを再創出するために、一般社団法人マツノイズムプロジェクトを令和 5 年 2 月に立ち上げました。

自分たちの活動は、地元の高校生が地元を舞台にふるさとを活性化していくという活動です。「この町が 50 年後、100 年後、果たして残っているのか。」私たちが「ふるさと」といえる場所を残すために、町の課題解決を高校生が考え、町の未来をプロデュースしています。

そして今年、新たな取り組みとしてふるさと納税の企画を進めています。地域の内外からの支援を集める方法で、町も、地域の事業者さんも、高校生も Win-Win-Win になれるよう、頑張ります!



熊本県立天草拓心高等学校

天草拓心高校 SBP 部

天草の潮風にのせ全国へ発信!!
～ SBP で地域創生を目指した取り組み～

こんにちは、天草拓心高校 SBP 部です。私たちは、先輩方より引継ぎ、あまりりん焼き・天草特産の晩柑フェアに合わせ晩柑ソースの開発販売・天草の郷土料理をモチーフにした、せんだご汁防災非常食を開発販売及び改良をおこなっています。初めて企画し、研究方法を考え、実際に販売まで漕ぎつく苦労を日々実感しています。しかし、課題に取り組む中で地元企業、市役所の方、先生と今まで以上に深く関わることができ大人の方の考え方、「どげんかしよう」という負けん気、「お客様に喜んでもらえる商品開発」、「ビジネスとして成立つ仕組みになっているのか」等の本質を追い求める大人の方の考え方を知ることができました。

これまでは高校生には「そこまで出来ない」、「しなくてもいい」と考える自分たちがいました。しかし今は違います。私たちが地元を盛り上げ笑顔をつくります。

まだ課題は多くありますが、SBP 部の部員と苦労を楽しみに変えながら改良や商品開発を進ませます。そして活気あふれる「天草の魅力発信」をしていきます。



熊本県立熊本農業高等学校

熊本農業高校養鶏プロジェクト

久連子鶏と熊本の文化を守る

熊本県五家荘には 300 年余り続く伝統芸能久連子古代踊りが存在します。しかしその伝統芸能は減少の一途を辿っているため私達が久連子鶏の飼育、繁殖方法を探究することで久連子古代踊りを守り、普及することができると考え、活動を行っています。現在の久連子鶏の羽数を調べたところ本校含め 88 羽と昨年からは増加していますが絶滅の危機に瀕していることに変わりありません。

そこで私達は孵化活動や個体管理を行い、愛好家の方に譲渡、品評会などを通じて知名度を広げています。久連子鶏は古くから久連子古代踊りに使われる笠(シャグマ)の装飾品として使われていましたが笠の作り手が現在 1 人しかいないことから愛好家の方から羽を集め 1 つ目の笠の復元を行いました。

今後は 2 つ目の笠の復元や孵化数・育成率の向上を目指していきたいと考えます。

私達の小さな積み重ねが伝統文化を残していくカギになると信じて活動を続けていきます。



沖縄県西原町

NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)

先輩に「3N プロジェクト」
引き継いで言われたから引き継いでみた



私たち NS²BP(エヌエスピービー)「Nishihara Students Social Business Project」は、西原町を愛する高校生たちが活動している団体が、発足 11 年目を迎えます。今年度は県内 11 校から集まった 45 名の高校生が、地域各種団体をはじめ、地元企業、NS²BP 卒業生の助けも借りながら日々元気に活動しています。

主な活動として、商品開発、国際交流、地域ボランティア、創作演劇など、様々なプロジェクトに取り組んでおり、その活動はすべて「高校生だけ」で企画・運営・開発・活動費の調達などを行っています。私たちのまち西原町は、かつて沖縄県内でも有数のさとうきび産地で、製糖工場が 2 カ所あり、黒糖の生産で栄えました。

その伝統をふまえ西原町産のさとうきびのしぼり汁(サーターユー)を活用した「万能!サトウキビから取っタレ!!」を開発し販売まで至っております。このタレは国産のしょうゆ、りんご、にんにく、等を加え、甘みには西原町で収穫されたさとうきびのしぼり汁(サーターユー)を使用しており、黒糖の持つ自然の甘みと風味が特徴のタレに仕上がっており、さらに、人口甘味料や保存料、香料、着色料は一切使用していない手づくりだれとして大好評をいただいております。今回は限定販売を行いますので、みなさま是非「万能!サトウキビから取っタレ!!」をご購入ください!!



沖縄県立宮古総合実業高等学校

地域活性化 SHARK プロジェクト

みゃーくSHARKプロジェクト2STAGE

毎年駆除・処分されているサメを、地域の新たな観光資源として活用していこうと考え、昨年度から関係機関と連携して活動をしています。

これまで、サメの捕獲見学からサメフォト、解体体験、サメ料理の提供を1つのパッケージとして、サステナブルツアーのテストマーケティングを実施しました。また、全面的な協力をいただいている漁協さん主催の朝市や、地元イベントにも参加し、サメの歯を活用したアクセサリ製作体験も実施してきました。地元メディア等も活用し、島内外に向けその周知を図っています。

今年度も、更に活用の幅を広げようと、サメ肉を活用した燻製（ジャーキー）の新商品開発や肝油の精製方法にも着手する予定です。

地域活性化に向けた第2章、新たなSTAGEに向け始動中です！



三重県立南伊勢高等学校

南伊勢高校 SBP

「プロジェクトマッピング」から始まる SBP 活動



南伊勢高校は「プロジェクトマッピング」に力を入れており、動画作成、上映を中心に活動を行っています。今年度は度会町にある宮リバーで開催された桜まつりで、運営側としてお手伝いさせていただきました。

YouTube においても、以前作成したプロジェクトマッピングを視聴できます。ぜひご覧ください。南伊勢高校の活動を今後ともよろしくお願いいたします。

英心高等学校

英心高校 Team SBP

SBP で将来の可能性に違いをもたらす！



英心高校は探究学習が盛んで、自由に参加できるゼミが多くあります。コンテストに応募したり、企業や自治体とプロジェクトを行ったりしています。探究を通じて、個人や社会の将来をもっと豊かで幸せにするための力をつけていきたいと思っています。さらに、SBP 活動に参加することで、もっと大きな違いを生み出せると確信しました。私たちからのインサイドアウトで英心高校にSBP を広げて行きたいと思っています。

長野県高森町

南信州 SBP クラブ

南信州の未来に向けて、地域の魅力発信に挑戦！



南信州 SBP クラブは、小中学生・高校生・大学生のメンバーが集まって5月に発足した出来立てほやほやのクラブです！みんなで楽しみながら地域の魅力を発信していきたいです。

今回は先輩のみなさんの取り組みを見学して、勉強させていただきたいと思います！

三重県立昴学園高等学校

昴学園 SBP

「大台町」から魅力発信！



本校は、総合学科として特色ある5つの系列があります。本校がある大台町は、ユネスコエコパークに登録されている町ですが、過疎化、高齢化等の地方問題を抱えています。地方の問題解決が日本の発展につながると考え、課題解決に取り組みたいと思っています。

今後取組を深め、来年にはアワードに参加し、皆さんと交流が出来るように頑張っていきます。

三重県伊勢志摩地域

IX コミュニティ

伊勢志摩地域を SBP で元気に！



IX コミュニティは、IX ホールディングス株式会社と一般社団法人未来の大人応援プロジェクトが共同して運営を行う、2023年10月に発足したコミュニティです。

伊勢志摩地域(=I)を新しい時代に向けて力強くトランスフォーム(=X 変革・変身)させたいという思いで、若者が伊勢志摩の地域課題に対し、SBP の実践を行っています！

学年も学校も異なる高校生や大学生等30-40人がグループに分かれて活動中！

大阪府立東住吉総合高等学校

HIGASO！さがそう！学校地域魅力発信グループ！

2025年大阪万博！集まれ大阪に！私たちの考える大阪の魅力、地域の魅力を発信します！



今回初参加です！私たちの学校は、大阪府平野区に位置する6系列のコースが魅力の総合学科の学校です。大阪府で唯一の総合学科(クリエイティブスクール)です！

この夏、私たちが所属するビジネス系列有志にて、SNSを使って地域学校の魅力を発信するためにグループを結成しました！今年は、同じ大阪の鶴見商業高校と一緒に大阪の魅力を発信します！

佐賀清和高等学校

文化教養科 SBP

SBP を取り入れた授業を実施



佐賀清和高校は佐賀県にある私立学校です。明治44年の創立以来、受け継がれる伝統として「和顔愛語」を実践目標として生徒たちは明るい笑顔と思いやりのある優しい言葉遣いで、礼儀正しい生活を心がけています。

現在、SBP の考え方を取り入れた授業も3年目となり1年生から3年生までそれぞれの取り組みを通年で実施しています。

韓国国際調理高等学校

未来に向かって！ 世界に向かって！



私たちの学校は韓国慶尚北道（キョンサンブクト）栄州（ヨンジュ）市に位置する調理、製菓製パン専門特性化高等学校であり、様々な国際活動および経験中心の教育学校です。

現在、熊本県立天草拓心高校 天草拓心高校 SBP、三重県立相可高校 食物調理科及び台湾の開平餐飲学校と一緒に非常食の取組をしています。この取組は2024年12月にパリでおこなわれる OECD 加盟60周年にて発表する予定です。

皆さんと交流できることを楽しみにしています。

これまでの SBP 交流フェア参加団体一覧

【北海道・東北】

北海道留萌高等学校、北海道留萌千望高等学校、北海道三笠高等学校、青森県立中里高等学校、青森県立鱒ヶ沢高等学校、青森県立木造高等学校深浦校舎、青森県立十和田工業高等学校、青森県立百石高等学校、青森県立五所川原農林高等学校、青森県立三本木農業高等学校、青森県立黒石高等学校、青森県立三本木農業高等学校、青森県立十戸高等学校、青森県立青森中央高等学校、五所川第一高等学校、五所川商業高等学校、青森津軽 SBP(青森県立鱒ヶ沢高等学校、青森県立中里高等学校、青森県立木造高等学校深浦校舎)、秋田県立秋田北鷹高等学校、仙台市立仙台商業高等学校、岩手県立盛岡農業高等学校、福島県立ふたば未来学園高等学校、福島県立小名浜海星高等学校、山形県立酒田東高等学校、山形県最上地域開発チーム WATS (山形県立新庄北高等学校、山形県立新庄南高等学校、羽黒高等学校)

【関東】

栃木県立那須拓陽高等学校、埼玉県立寄居城北高等学校、明星高等学校、新渡戸文化学園高等学校、神奈川県立川崎高等学校、横浜市立横浜総合高等学校、三浦学苑高等学校、

【中部ブロック】

新潟県立海洋高等学校、富山県立滑川高等学校、長野県立飯田高等学校、長野県高森町 南信州 SBP クラブ、静岡県立静岡農業高等学校、静岡県立韭山高等学校、静岡県立駿河総合高等学校、静岡県立島田商業高等学校、静岡県立島田工業高等学校、静岡県立浜松城北工業高等学校、浜松学芸高等学校、愛知県立佐屋高等学校、愛知県立高浜高等学校、中部大学春日丘高等学校、岐阜県立岐阜農林高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校、福井県立若狹高等学校、福井県内外海のステージ実行委員会

【近畿】

滋賀県立八幡商業高等学校、滋賀県立安曇川高等学校、三重県立桑名工業高等学校、三重県立あけぼの学園高等学校、三重県立白山高等学校、三重県立飯南高等学校、三重県立松阪商業高等学校、三重県立相可高等学校 生産経済科、三重県立相可高等学校 NPO 法人植える美 ing、三重県立相可高等学校 食物調理科、三重県立明野高等学校、三重県立昂学園高等学校、三重県立伊勢工業高等学校、三重県立南伊勢高等学校度会校舎、三重県立南伊勢高等学校南勢校舎、三重県立水産高等学校、三重県立紀南高等学校、三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR、皇學館高等学校、英心高等学校、代々木高等学校、高校生みえ創造サミット 2022 チーム (津田学園高等学校、三重高等学校)、IX コミュニティ マルシェグループ (セントヨゼフ女子高等学校、宇治山田商業高等学校)、IX コミュニティ 福祉グループ (三重県立昂学園高等学校、英心高等学校)、IX コミュニティ (伊勢志摩地域高校生グループ) 京都府立須知高等学校、京都府立海洋高等学校、大阪府立鶴見商業高等学校、大阪府立東住吉総合高等学校、関西インターナショナルハイスクール、和歌山県立神島高等学校

【中国・四国】

倉吉北高等学校、鳥取県立倉吉総合産業高等学校、鳥根県立吉賀高等学校、鳥根県立隠岐島前高等学校、山口県立山口農業高等学校、徳島県立城ノ内高等学校、愛媛県立土居高等学校、愛媛県立大洲農業高等学校、一般社団法人マツノイズムプロジェクト (愛媛県立宇和島東高等学校、北宇和高等学校、宇和島水産高等学校)、愛媛県立宇和島水産高等学校

【九州・沖縄】

佐賀県立伊万里農林高等学校、佐賀清和高等学校、熊本県立熊本農業高等学校、熊本県立天草拓心高等学校、熊本県立牛深高等学校、宮崎県立飯野高等学校、沖縄県西原町 NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)、沖縄市内高校生プロジェクト委員会 (コザ・美里・美来工科・美里農業高等学校)、沖縄県立宮古総合実業高等学校、沖縄県立美里工業高等学校、沖縄県立北部農林高等学校、宮古島「高校生仕事クラブ」んまがぬ家

【その他】

学校紹介動画制作プロジェクト (青森県立青森中央高等学校・浜松学芸高等学校)、浜松〇鱒ヶ沢 胸キュン絆プロジェクト (青森県立鱒ヶ沢高等学校・浜松学芸高等学校)、大田保健大学 (韓国)、韓国国際調理高等学校 (韓国)、皇學館大学 大学生 SBP 研究部会、皇學館大学 学生団体 ACE (エース)

※参加年によって団体名称が変わるため学校名のみ記載しています。同じ高校に同年2団体以上ある場合は1校として掲載するか学科名で区別しています。名称変更・統廃合があった高校については旧学校名等を記載し、また現在存在しない学校・団体も記載しております。2024年8月現在約120校。

全国高校生 SBP 交流フェアのあゆみ

全国高校生 SBP 交流フェアは今回で9年目の開催となります。これまでに延べ230団体、3,200名の参加を頂きました。次回、第10回の記念大会を迎えるにあたり、これまでの SBP 交流フェアのあゆみを紹介します。



第1回 2016年開催

- 料理部門
- SBP チャレンジ部門

会場 三重県南伊勢町 三重県伊勢市

参加数 11 団体 400 名

初開催は SBP 発祥の地である南伊勢町で開催。料理部門と SBP チャレンジ部門がありました。



第2回 2017年開催

- 料理部門
- SBP チャレンジ部門

会場 皇學館大学 三重県伊勢市

参加数 24 団体 366 名

文部科学大臣賞

静岡県立静岡農業高等学校 松葉研究班

皇學館大学での開催。文部科学省が共催となり、初の文部科学大臣賞が授与されました。



第3回 2018年開催

- 料理部門
- SBP チャレンジ部門

会場 皇學館大学 しんみち商店街

参加数 31 団体 434 名

文部科学大臣賞

浜松学芸中学校・高等学校 はままつ胸キュンプロジェクト

高校生たちの発表の場として、伊勢市駅近くのしんみち商店街で夜の市を実施しました。



第4回 2019年開催

- SBP チャレンジアワード

会場 皇學館大学 しんみち商店街 三重県立相可高等学校

参加数 34 団体 500 名

文部科学大臣賞

福島県立ふたば未来学園高等学校 社会起業部カフェチーム

出場団体が増え、SBP チャレンジアワードが増え、SBP 交流フェアのメインとなりました。



第5回 2020年開催

- SBP チャレンジアワード

会場 オンライン

参加数 32 団体 300 名

文部科学大臣賞

愛知県立高浜高等学校

地域活動部 SBP 班

コロナ禍により現地開催が困難に。試行錯誤の中、完全オンラインでの実施を構築しました。



第6回 2021年開催

- SBP チャレンジアワード

会場 オンライン

参加数 32 団体 250 名

文部科学大臣賞

熊本県立天草拓心高等学校

天草拓心高校 SBP 部

第5回に続き完全オンライン。本選の仕組みがオンライン審査になるきっかけとなりました。



第7回 2022年開催

- SBP チャレンジアワード

会場 オンライン

皇學館大学

参加数 36 団体 450 名

文部科学大臣賞

中部大学春日丘高等学校

インターアクトクラブ

コロナ明けの初の現地開催。同時に高校生たちも初のリアルでの交流ができました。



第8回 2023年開催

- SBP アワード チャレンジ部門
- プレミア部門

会場 オンライン

皇學館大学

ハリウッド美容専門学校

参加数 37 団体 500 名

文部科学大臣賞

沖縄県西原町 NS²BP

(西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)

SBP のモデルケースを発表するプログラム3「プレミアステージ」を新設し、東京六本木にて開催しました。

※全国高校生 SBP 交流フェアの前身である「全国高校生 “S” の交流フェア」(第1回～第3回、三重県多気郡多気町にて開催)を含めると今回で12年目となります。

誰かと受け継がれてきた伝統や文化、
 豊かな自然に恵まれた伊勢志摩という地で
 ままざまな人と触れ合い、
 地域の課題に向き合っていく。
 果敢な視点としなやかな発想で、
 もともとあるものを大切に守りながら、
 未来の力を開拓し、
 新しい価値を生み出していく。
 それが、これからのわたしたちの役割だと、
 地域の課題で気づくことができました。
 この職を覚え、覚えていくことから、
 日常を元気にしたい。
 そんな将来を思い描くようになった。
 大らかに、深く、柔らかく、温かく、熱い。
 伊勢志摩という教科書は、
 いつもわたしたちに多くのことを教えてくれる。

伊勢志摩、
という教科書。

皇學館大学 皇學館高等学校 皇學館中学校
三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL 0596-22-0201 (代表) <https://www.kogakkan.ac.jp>

お客様に必要とされる
会社を目指して
Inside Brain

印刷 広告
動画 ホームページ

株式会社 アイブレイン
本社 〒516-0017 三重県伊勢市神久3丁目5-67
TEL 0596-27-1111 FAX 0596-23-0125
<http://IBRAIN.mie-net.ne.jp>

十和田の野菜がおいしいコミュニティカフェ♪

ハピたの がぶえ

(特) 十和田NPO子どもセンター・ハピたの
青森県十和田市稲生町16-43 Tel/FAX 0176-23-0853

～地域で子どもを育てよう～

NARUMI
いいもの いつも いつまでも

鳴海製陶株式会社
〒458-8530 愛知県名古屋市長区鳴海町伝治山3番地
Tel:052-896-2200

三重ナルミ株式会社
〒517-0218 三重県志摩市磯部町築地 1524-1
Tel:0599-55-2113

NARUMI Factory Shop
営業時間 10:00 ~ 16:00
定休日 火・水 (祝日の場合は営業)
Tel : 0599-55-3637

くらしの中に
上質であわせな時間をつくり
みなさまを笑顔にする。

伊勢名物 赤福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代) 7ヶ所 TEL 0120-081-381
<https://www.akafuku.co.jp>

心、おどる、デジタル

人の創造性を解放し、自由な発想をカタチにすることで、
課題解決の向こうにあたらしい明日を創ります。
それが、アドビのクリエイティブ・デジタルトランスフォーメーション。
ユーザーを真に理解し、変化を先取りして
一人一人に合ったコンテンツ制作やクリエイティブで迅速に対応。
また、仕事の進め方や手順を常に見直し、継続的な事業の革新と創造をサポートします。
解決力から創造力へ、
心にひびく、社会につながる、幸せなほうのデジタルを、アドビと。

Adobe

NEXCO 中日本サービス株式会社

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-4-18 岡谷鋼機ビル5F
☎052-222-9991 <https://c-nexco-svc.jp/>

人がつなぐ
その先へ

BSよしもと
- BS265ch -
テレビでもスマホでもPCでも
無料でBSよしもと!

絶賛放送中!!

bsy.co.jp

今までも、これからは。
私たちにできること。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SYD
みんなの幸せを願う「幸せの種まき運動」を
全国的に展開しています

SUPPORTING YOUR DREAMS

SYD 伊勢青少年研修センター
伊勢市宇治今在家町 153
TEL 0596-25-0265
FAX 0596-25-0309
HP <https://syd.or.jp/ise/>

人と地域に
寄り添い
同じ未来を
見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》

百五銀行
FRONTIER BANKING
インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>

調査業務
コンサルティング業務
会員制度
主な定期刊行物

幅広い分野で、
お客さまのニーズに
お応えします。

HRI 株式会社
百五総合研究所
TEL.059(228)9105 FAX.059(228)9380
URL <https://www.hri105.co.jp/> E-mail info@hri105.co.jp

三重の加工技術集団。空気以外なんでも削って50年。

株式会社 中村製作所

工作機械部品加工・産業機械部品加工・各種精密部品加工

お問い合わせ 059-364-9311
〒512-8061 三重県四日市市永広町 1245
FAX 059-364-8836
<http://www.nakamuraseisakusyo.co.jp>

ZURICH
チューリッヒ生命

〒164-0001
東京都中野区中野4丁目10番2号 中野セントラルパークサウス16階
電話(代表): 03-6832-1101

FORVAL

「新しいあたりまえ」で、
新しい世界を創る

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン(株)
〒514-8578 三重県津市栄町1丁目 817 番地
TEL 059-228-7561

お父さん、秘密基地
欲しいんでしょ？

コンテナ・トレーラーハウス専門店
『KAKUREGA』

荷物とともに、あなたの想いを運びます。

TORUK!

〒513-0821 三重県鈴鹿市地子町 523-2
TEL : 059-384-0003
https://www.toruki.co.jp/

見方を変えると、
未来が見えてくる。

0→1
MAKE IT HAPPEN

三井化学
www.mitsuichemicals.com

IT × 教育で地域を「元気」に。

地域活性をITとデザインで支援
地域課題へのIT技術の活用 / システムエンジニア研修・プログラミング教育

みらいこ株式会社
〒516-0074 三重県伊勢市本町8-11 info@miraico.co.jp

味にまじめ
素材にまじめ

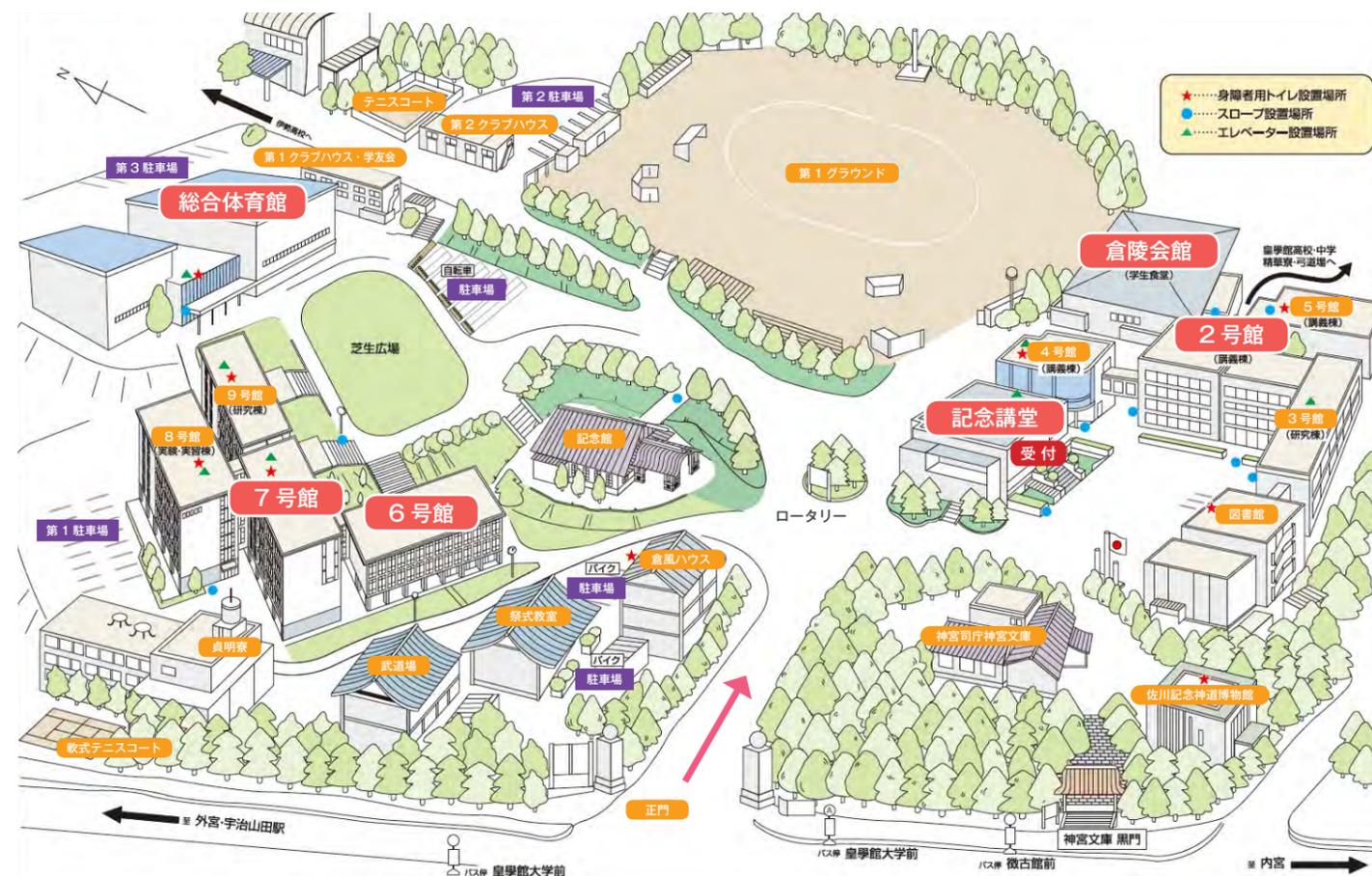
たいやき
わらしべ



これまでのSBP協賛企業様一覧 (50音順です。)

株式会社赤福、株式会社アクアグニス、アサヒビール株式会社、株式会社アイブレン、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー、株式会社いち、有限会社壹貳参、伊藤忠製糖株式会社、特定非営利活動法人植える美 ing (ウエルビーイング)、株式会社魚国総本社三重支社、株式会社うおすけ、エイチ・エス・アシスト株式会社、株式会社エオネックス、NT GROUP、株式会社NTT ドコモ、株式会社O.R. コーポレーション、相可高校 生産経済科、株式会社相可フードネット (せんばいの店)、株式会社近江兄弟社、株式会社岡井ファーム、社会福祉法人 笠木御所校舎、河武醸造株式会社、株式会社川原製茶、株式会社ぎゅーとら、ギョルメ舎フーズ株式会社、グーグル合同会社、九重味淋株式会社、クラギ株式会社、株式会社グラノ24K、グリコハム株式会社、株式会社ゲイト、コケッコ共和国、コスモピア株式会社、公益財団法人修養団、松和自動車学校、株式会社松和産業、有限会社すかや呉服店、瀬古食品有限会社、株式会社セブン銀行、株式会社タイム、多気郡農業協同組合、多気町観光協会、多気町商工会、株式会社チェンジ、チュールッヒ生命保険株式会社、辻製油株式会社、株式会社デンソープレステック、国立大学法人東京学芸大学、株式会社トモ、株式会社豊田自動織機、特定非営利活動法人十和田 NPO 子どもセンター・ハビタの、株式会社中村製作所、鳴海製陶株式会社、日経三勢会、人源輝業塾、NEXCO 中日本サービス株式会社、万協製菓株式会社、番頭舎、BS よしもと株式会社、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社 (ファーウェイ・ジャパン)、株式会社フォーバル、富士ゼロックス三重株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、株式会社プラトンホテル、合同会社プレシャスコネクション、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社マサヤ、株式会社マサヤグループ本社、マルシェ株式会社、三重県教育工学研究会、三井化学株式会社、三菱商事株式会社、みらい乙株式会社、株式会社レオパレス21、株式会社LOCK、松阪山桜ロータリークラブ、有限会社丸伸西口商店、三重県立伊勢工業高等学校、三重信用金庫相可支店、三重執魂株式会社、株式会社ミエライス、morockme、有限会社山春商店、ユナイテッド三重株式会社、ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社、有限会社わらしべ

会場MAP



記念講堂

- 8月17日(土)**
- ロビー
○受付
 - 講堂
○プログラム2 開会式
○SBP アワード 代表発表会
- 8月18日(日)**
- ロビー
○受付
 - 講堂
○表彰式
○プログラム2 閉会式

倉陵会館

- 8月17日(土)**
- 学生食堂
○審査員控室
○夕食会場
- 8月18日(日)**
- 学生食堂
○WS1 (わらしべ提供)
○昼食会場
○プレゼンターと受賞団体の交流

7号館

- 8月18日(日)**
- 1F 711 教室
○WS7 (アイブレン提供)
 - 1F 712 教室
○WS2 (鳴海製陶・三重ナルミ提供)
 - 2F 721 教室
○WS4 (津NPOサポートセンター提供)
 - 2F 722 教室
○WS5 (アンシャンテ提供)
 - 3F 731 教室
○WS3 (学生スタッフ×事務局提供)
 - 3F 732 教室
○WS6 (国土交通省中部地方整備局提供)

6号館

- 8月18日(日)**
- 2F 622 教室
○SBP 講演会 (大人向け)

総合体育館

- 8月17日(土)**
- 実践発表交流会
○メインステージ
○出展ブース①~⑩
○本部席・休憩席